



# 北浦っ子

令和4年度学校だより 11月号  
11月18日発行  
延岡市立北浦小学校 No12  
文責：校長 甲斐 憲一

## 楽しかった修学旅行！

11月1日・2日の日程で大分に修学旅行に行ってきました。1日目は、大分市駅周辺の探索をし、駅のフードコートで食事をとって、駅前で北浦町のPR活動をしました。その後竹細工作りをして、別府市にあるホテルニューツルタに宿泊しました。2日目は血の池地獄や海地獄などを回り、城島高原パーク遊園地でジェットコースターなどを満喫し、最後は、水族館のうみたまごで魚を鑑賞するというよりは、お土産を買って帰るという感じで楽しい2日間があったという間に過ぎました。

特に昨年度から始めた北浦PRですが、今年は大分駅前で行うことになり、事前に自分たちで北浦のパンフレットを作成したり、実際に街ゆく人へのPRの仕方をシミュレーションして、言葉のかけ方や接し方も練習して臨みましたが、積極的にPRして、自信をもった人もたくさんいたのではないのでしょうか。北浦のPRは大成功だったと思います。学校宛てにお礼の葉書まで届き、私はびっくりしました。6年生のがんばりや北浦を思う気持ちがしっかりと伝わったんだなとうれしく感じました。

バスの中では2日とも元気いっぱいすぎて、バスガイドさんも圧倒されていました。とてもユーモアのあるバスガイドさんでしたので、バスの中はノリノリで、楽しい楽しい修学旅行になりました。添乗員さんやバスガイドさん、運転手さん、2日間大変お世話になりました。



【いざ駅周辺探索へ！】



【北浦宣伝中！】



【宣伝横断幕の前で記念撮影】



【観覧車からの眺め】



【血の池地獄】



【海地獄】

## 防災講話

11日（金）に中学生と一緒に防災講話を行いました。1部では宮崎大学名誉教授 原田 隆典様から「地震・津波を知り、備える」という演題で、地震や津波の起こる原因や、実際に南海トラフ地震が起こったときのシミュレーションなどについてお話をしていただきました。

2部では福島県富岡町の語り部「NPO法人富岡町3・11を語る会」の 青木 淑子様から東日本大震災のことを始め、地震や津波の影響でメルトダウンした原子力発電所の放射能拡散により、我が町を離れなくてはならなくなったことなどについて、詳しくお話をしていただきました。小学生も中学生も一生懸命に話を聞くことができました。

3部では講話を活かし、各地区ごとに分かれて、小中学生が一緒になって防災について意見交換しました。なかなかこのような講話や小中学生一緒での話し合いなどはないのでとてもよい機会になりました。原田教授は2040年前後で南海トラフ地震が起こる可能性が高いとおっしゃっていましたので、防災についての意識を高めていきたいと思いました。



【原田教授の講話】



【青木さんのお話】



【中学生と一緒に意見交換】

## 羽釜で米炊き

5年生が収穫したお米を羽釜で炊きました。お米をきれいに洗い、お水を入れ、マッチで火を付けて薪を燃やしてお米が炊けるのを待ちました。マッチで火を付ける経験が無いので、なかなか火を付けることができなかったという話を後で聞きましたが、白米がきれいに揃って立っていて、ピカピカした姿は、見た目でもおいしそうで、実際子どもたちがおにぎりをいただきましたが、本当においしかったです。お焦げも入ってなかなかの味でした。子どもたちは自宅からもってきたおかずと一緒に食べました。なかなかこのような機会はないのでとても貴重な体験となりました。自然の恵みに感謝ですね。

ご協力いただいた松原さん  
小泉さんありがとうございました。



【おいしいお米のできあがり】



【お昼ご飯！】